



子どもの未来応援について

☆ 明日の松戸を支えていくのは、子どもたちです。松戸の子どもたちが自分の可能性を信じて、自分の夢に挑戦し、未来を切り開いていくことができるように、市役所、市内企業、地域等が一体となって、子どもを支援する意識を醸成し、連携して子ども支援を進めてまいります。

これまでの経過

- 平成28年1月に市長の号令により、子ども部参事監をリーダーとして、庁内横断的な「子どもの未来応援検討チーム」を設置（9部・15課）
- 先進市の視察
 - ・ 足立区・福岡市・北九州市・大田区
- 子どもの居場所づくり・子ども食堂スターとアップ勉強会の開催
 - ・ 講師：NPO 法人 豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク 栗林千絵子 氏
- スクールソーシャルワーカーに関する勉強会の開催
 - ・ 講師：足立区統括スクールソーシャルワーカー 高木 政代 氏
- 「子どもの貧困について」職員向け人権研修会の開催
 - ・ 講師：首都大学東京 教授 阿部 彩 氏

平成29年度の取り組み

1. 子どもの未来応援対策の策定について
（実施方法）
 - 子育て世帯の子どもと保護者の生活実態を把握するための調査を実施
 - ・ 実施時期：平成29年夏に実施予定
 - ・ 対象：市内の子育て世帯の親子
 - 実態調査の結果を踏まえ、総合的な「子どもの未来応援対策」の策定
 - ・ 平成30年度を目途に、本市の総合的な「子どもの未来応援対策」を策定し、支援施策をスタート予定



(推進体制)

- 子ども部子ども家庭相談課に「子どもの未来応援担当室」を創設
- 仮称)「子どもの未来応援会議」を設置
 - ・課題となる分野の有識者から意見を聴取
 - ・委員構成：福祉や児童虐待、教育、就労など検討分野の政策に精通した有識者および子育て世帯の生活実態調査や子どもの貧困対策に関わる有識者など

参考) 近隣市の取り組み状況 県内では千葉市(こども未来局こども未来部こども家庭支援課)、柏市(こども部子供福祉課)が平成28年度にアンケート調査を実施し子どもの貧困対策推進計画を策定予定

2. 実施事業について

(関係課で取り組む事業の例)

- 教育相談事業(学校教育相談業務)
 - ・中学校1校をモデル校とし、スクールソーシャルワーカーを学校に固定配置し、教育相談事業を充実。
- ひとり親家庭支援事業(ひとり親家庭学習支援業務)
- 生活困窮者自立支援事業(子どもの学習支援業務)
 - ・六実会場を追加し、市内4ヶ所に拡大
 - ・松戸駅周辺地区は、対象者を高校生まで拡大
- 児童虐待等早期発見・対応事業(家庭児童相談関係業務)
 - ・児童虐待早期発見早期対応のために子ども家庭相談課を「市区町村子ども家庭総合支援拠点」として整備するために臨床心理士、社会福祉士などの有資格の非常勤職員を増員
- 地域子ども・子育て支援事業(児童短期入所等委託業務)
 - ・土曜日にお子さんをお預かりする休日養護の委託事業者を増やし、定員を拡大

問い合わせ先 子ども部子ども家庭相談課
電話 ☎047-308-7210